

選手と薬剤師で考えるアンチ・ドーピング ワークショップ2015 in Hokkaido

期 日：平成27年11月15日(日)
場 所：北海道薬事会館 3階

共催：北海道薬剤師会 北海道体育協会
後援：日本アンチ・ドーピング機構
第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会
北海道病院薬剤師会
札幌市 札幌市教育委員会

2015年11月15日に北海道薬事会館にて、「選手と薬剤師で考えるアンチ・ドーピングワークショップ2015 in Hokkaido」(共催：北海道体育協会、後援：日本アンチ・ドーピング機構、第8回札幌アジア冬季競技大会組織委員会、北海道病院薬剤師会、札幌市、札幌市教育委員会)が開催されました。本ワークショップは選手や関係者とスポー



開会挨拶 竹内伸仁副会長

ツファーマシストならびに薬剤師と一緒にアンチ・ドーピングを考えることで情報を共有し、アンチ・ドーピングのための正しい知識、最新の情報を認識していただき、アンチ・ドーピングの健全な在り方についての理解を深めることを目的としており、今年で3回目の開催となります。

ワークショップ当日は、スポーツファーマシスト・薬剤師、選手、トレーナー、コーチ、医師、そして2017年に札幌、帯広で開催されます冬季アジア札幌大会の関係者など72名と多くの方々に参

北海道薬剤師会
アンチ・ドーピング特別委員会委員
前田直大

加していただきました。グループワークでは、身近に起こり得る可能性がある競技会の前日に急に風邪をひいてしまったらどのように対処するか、先輩が飲むと疲れが取れると白い錠を勧めた場合にどのように対応



司会進行
笠師久美子常務理事

するかをテーマとした2つのCase Studyを取り上げましたが、大変熱心に議論を繰り広げ、いろいろな立場からの意見や質問があり会場は大いに盛り上がりました。

グループワークに先駆けられた講演では日本アンチ・ドーピング機構の鈴木智弓さんから、アンチ・ドーピング活動の情報提供や世界アンチ・ドーピング規程の禁止表国際基準に基づいて医薬品の使用可否を検索することができるGlobal DROについて、東京都薬剤師会の對崎利香子さんから、アンチ・ドーピングに対する関心を高めるために行っているJADAアウトリーチ活動について、また、ス



鈴木智弓氏講演



對崎利香子氏講演

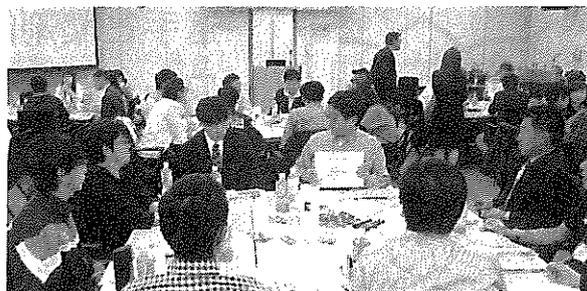


鈴木靖氏講演

ピードスケートのオリンピックであり、JADAアスリート委員として活躍されています鈴木靖さんから、アスリート目線のアンチ・ドーピングやス

ポーツファーマシストに対する期待などのお話をいただき、各講演者の素晴らしいご講演に参加者は皆、熱心に耳を傾けアンチ・ドーピングについての知識や意識を高めていました。

昨年、6年ぶりに改訂された2015年世界アンチ・ドーピング規程では、アンチ・ドーピング規則違反が従来までの8項目から10項目へ拡大されるなど多くの改訂がありました。その中でも特記すべき項目として、競技者だけでなくそれを取り巻くサポートスタッフの役割や責務が明確化され重要になっています。「サポートスタッフとは、スポーツ競技会に参加し、又は、そのための準備を行う競技者と共に行動し、治療を行い、又は、支援を行う指導者、トレーナー、監督、代理人、チームスタッフ、オフィシャル、医療従事者、親又はその他の人をいう」と世界アンチ・ドーピング規程で明記されています。これは今回のワークショップにサポートスタッフの方が多く参加されていたことから分かるように、サポートスタッフはこれまで以上にアンチ・ドーピングについての理解や協力が必要になってきています。その中でスポーツファーマシストや薬剤師も安心できる薬物療法



グループワークの様子

を提供するために、アンチ・ドーピングに対する知識や情報提供が求められてくると思われます。また、なぜアンチ・ドーピングが必要であるのかを広めていくためにも地道なアンチ・ドーピング活動が大切となってきます。



閉会挨拶
大倉康常務理事

今回のワークショップの内容につきましては、北海道薬剤師会のホームページから閲覧できるように現在準備を進めています。準備が整いましたら別途ご連絡致しますので是非ご覧ください。



ワークショップを終えて

選手と薬剤師で考える
アンチ・ドーピングワークショップ 2015 in Hokkaido

【概要】

日時：平成 27 年 11 月 15 日（日） 13：00-16：40

会場：北海道薬事会館

主催：（一社）北海道薬剤師会

共催：（公財）北海道体育協会

後援：（公財）日本アンチ・ドーピング機構、第 8 回札幌アジア冬季競技大会組織委員会、札幌市、札幌市教育委員会、北海道病院薬剤師会

ワークショップ進行：司会：北海道薬剤師会 笠師久美子、進行支援：鈴木智弓（敬称略）

【グループ構成】

グループ：（選手・関係者＋薬剤師＋ファシリテーター1名）×8 グループ

ファシリテーター：8名

Case 1：A 大倉、C 前田、E 疊谷、G 坂田

Case 2：B 板垣、D 竹内、F 門間、H 奥村

【スケジュール】

- | | | |
|-------------|--|--|
| 12:30-13:00 | 受付開始
アンケート記入（事前意識調査） | |
| 13:00-13:05 | 開会挨拶
北海道薬剤師会副会長 | 竹内伸仁 |
| 13:05-13:10 | 講師ならびに関係者紹介
東京都薬剤師会
日本アンチ・ドーピング機構 アスリート委員
日本アンチ・ドーピング機構（JADA）
北海道体育協会 競技スポーツ課主事
第 8 回札幌アジア冬季競技大会組織委員会推進担当課長 | 對崎利香子
鈴木靖
鈴木智弓、大黒ゆきこ
中谷康子
山崎久嗣 |
| 13:10-13:15 | ワークショップ概要：笠師久美子 | |
| 13:15-13:35 | アンチ・ドーピング活動について：（JADA） | |
| 13:35-14:05 | JADA アウトリーチ活動へ参加して：對崎利香子（東京都薬剤師会） | |
| 14:05-14:35 | アスリートからの助言：鈴木靖（JADA アスリート委員） | |
| 14:35-14:55 | Global DRO 等の情報提供：（JADA） | |
| 14:55-15:05 | 休憩 | |
| 15:05-15:50 | グループワーク：選手・薬剤師・関係者
自己紹介、マイブーム、書記・発表担当者の選出
Case 1：急な風邪の対応
Case 2：白い錠剤の対応 | |
| 15:50-16:35 | 感想・まとめ：笠師久美子・ファシリテーター
各グループから選手もしくは指導者 1 名、SP もしくは薬剤師 1 名の感想 | |
| 16:35-16:40 | 閉会挨拶：大倉康副委員長
アンケート記入（受講後意識調査）後、修了証受領後、順次解散 | |

*鈴木靖さん：1982 年 世界スプリント選手権大会、1983 年 ゴールデンスケート（ドイツ）、世界スプリント選手権大会、1984 年 サラエボオリンピック、救急救命士、JICA 国際緊急援助隊医療チーム所属